

# 日本共産党 西宮市会議員団ニュース

(発行)

日本共産党西宮市会議員団 (2015. 2. 4 NO. 636)  
西宮市六湛寺町10-3 (市役所内) TEL-0798-35-3368  
FAX-22-7815 Eメール・nmc30547@nishi.or.jp  
ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

## 今村西宮市長に、「偏向報道対応」の撤回を申し入れました

申し入れをする5名の市議員と庄本けんじ市政対策委員長



1月29日、日本共産党西宮市会議員団5名は、庄本市政対策委員長とともに今村市長の「偏向報道対応」について申し入れを行いました。当日、今村市長は来客があるということで松永副市長と市長室長ほかが対応。

これは震災20年を前にした15日、民放で放送された「UR借り上げ復興住宅からの入居者退去問題」について、今村市長が定例記者会見で「市が一方的に入居者を追い出しているような放送がなされた・・・」と反発。その後23日付で「偏向報道を受けての今後の市の報道対応について」と、取材拒否も辞さないとのコメントを4点にわたり発表した件。

その後「偏向報道」という文言は撤回したものの趣旨は何ら変わっておらず、市民の知る権利を損なう恐れがあることから、市議団は抗議を込めた申し入れとなったものです。(申し入れ文は裏面に)



### 市の主張が取り上げられなかったら「偏向報道」??

申し入れの際、「何をもって偏向報道とするのか?」との市議団の問いに、松永副市長は「長時間かけて担当者がテレビ局に説明したのに、ほとんどカットされた」とか「市の主張が取り上げられなかった」という趣旨の発言を行いました。これには、今村市長をはじめ市の幹部職員に、報道の自由や表現の自由の理解がほとんどないことに驚きを禁じえませんでした。

テレビでUR借上げ問題の放映をご覧になった方からも「何も問題なかったよ」「むしろ市の職員が20年経ったら退去してもらおう『通知』を出していないのに、あたかも出していたかのような発言があり、許せない・・・」との感想も寄せられています。

### 市民の知る権利を奪うことにも・・・

今回の市長の対応は、テレビや新聞でも大きく取り上げられ、そのいずれもが①市に「不都合な取材」排除も(読売新聞)②市民の「知る権利」脅かし、言論統制にもつながりかねない(神戸新聞)などと指摘しています。市議団は今回の市長の対応を重視し、3月議会でも市長他の対応をただしていきたいと思えます。皆さんのご意見もお聞かせください。



市長の対応を批判視するマスコミ

## 「アサヒビール工場跡地」問題についての市議団の見解

このたび津門大塚町のアサヒビール工場跡地の一部(2.6%)を、県立西宮病院と市立西宮中央病院との統合病院候補地の一つとして、市土地開発公社に西宮市が約55億円の貸し付けを行い取得することになりました。統合問題が不調に終わったときは元の土地所有者(アーク不動産[株])が同額で買い戻すことが条件。しかし現時点では県と市で統合の協議に入れていません。

もともとの「計画」は、跡地の3.8%を約69億円で市が取得し、中央病院・中央体育館・西宮消防署などを移転改築し、防災公園も整備することになっていました。日本共産党市議団は、市の中心部に得難い土地であり価格も廉価であることから、老朽化が進む諸施設の移転建替えなどの「計画」は妥当としてきました。

しかし、今村市長になり「計画」は白紙撤回され①西宮市立病院は県との統合をめざす②中央体育館や西宮消防署は現地建替え③防災公園は整備しない・・・と変更。

その後、日本共産党を含む賛成多数で、市議会は一定の土地を確保すべきと決議を採択。これを受け市長は「県と市の統合病院候補地の一つとして土地取得する」ことになりました。

今後の進捗がどうなっていくか予測はできませんが、西宮市の中心部のまちづくりで、市民のための土地活用となるよう市議団としても主張していきたいと思えます。

